

行動予定表 サーバ設定取扱説明書

株式会社ハシモト

Hashimoto Corporation

目次

1	はじめに.....	2
2	システムの導入・設定.....	2
2.1	動作環境.....	2
2.2	行動予定表のセットアップ	3
2.2.1	行動予定表システムのインストール手順.....	3
2.3	ACTIVEPERL のインストール	6
2.3.1	ActivePerl のインストール手順.....	6
2.4	ACTIVEPERL の動作確認	9
2.5	IISでPERL CGIを使用するための設定.....	10
2.6	仮想ディレクトリの作成.....	14
2.7	WEBサービス拡張の設定.....	19
2.8	アクセス権の設定（インターネットのセキュリティ対策）	20
3	ユーザ情報の設定.....	28

1 はじめに

- 本書は、行動予定表 Version 1.0.5（以下、本システムという）のサーバ設定について述べています。
- 本システムは、複数メンバがインターネットで各自の出勤／退勤状態と予定を登録し、他のメンバにその情報を開示することを実現するものです。

2 システムの導入・設定

2.1 動作環境

本システムは、以下のサーバ環境下で動作します。

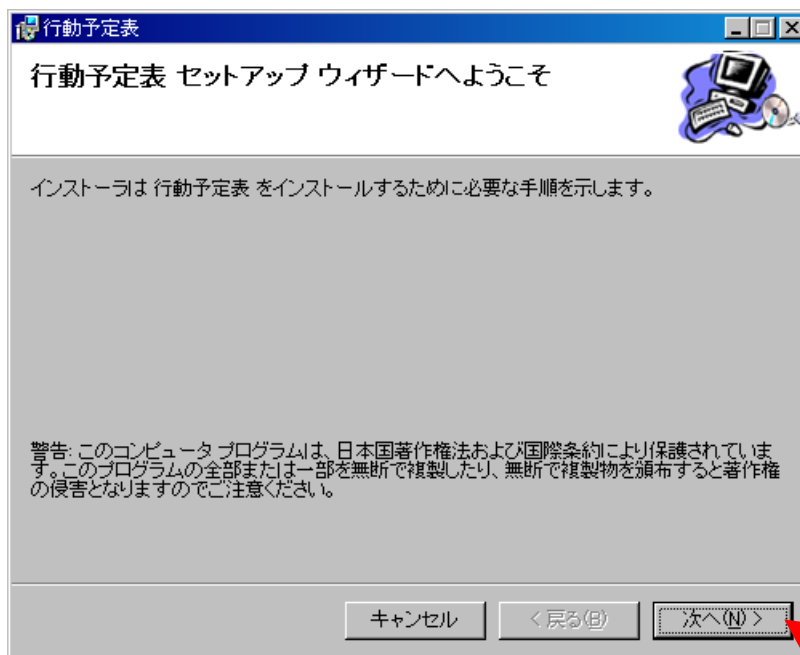
OS	Windows Server 2003
Web サーバ	Microsoft Internet Information Services 6.0
Perl インタプリタ	ActivePerl（ActiveState 社が無償配布）
本パッケージ	弊社ホームページからダウンロード（kodoyote.lzh 圧縮ファイル）

本説明書の記述は、Web サーバ（IIS）を導入済みであることを前提にしています。

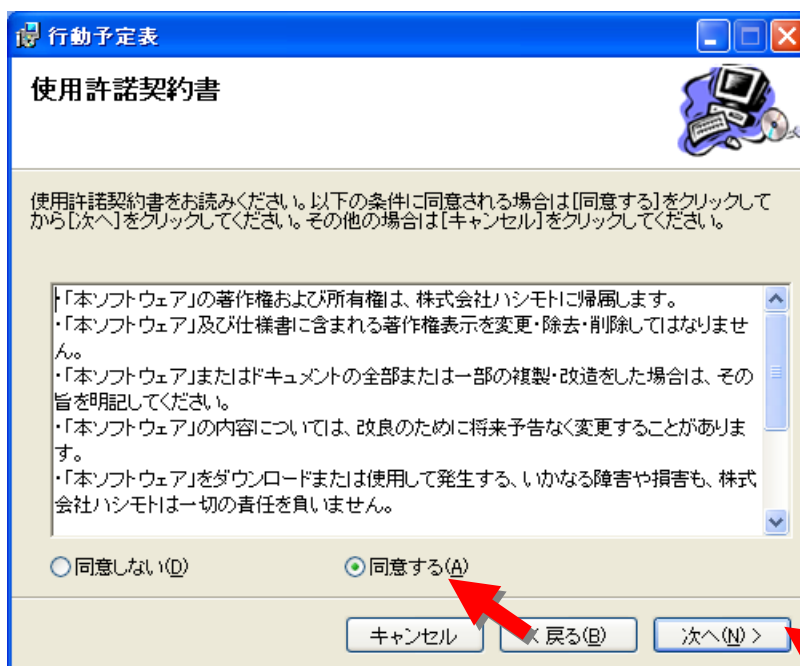
2.2 行動予定表のセットアップ

2.2.1 行動予定表システムのインストール手順

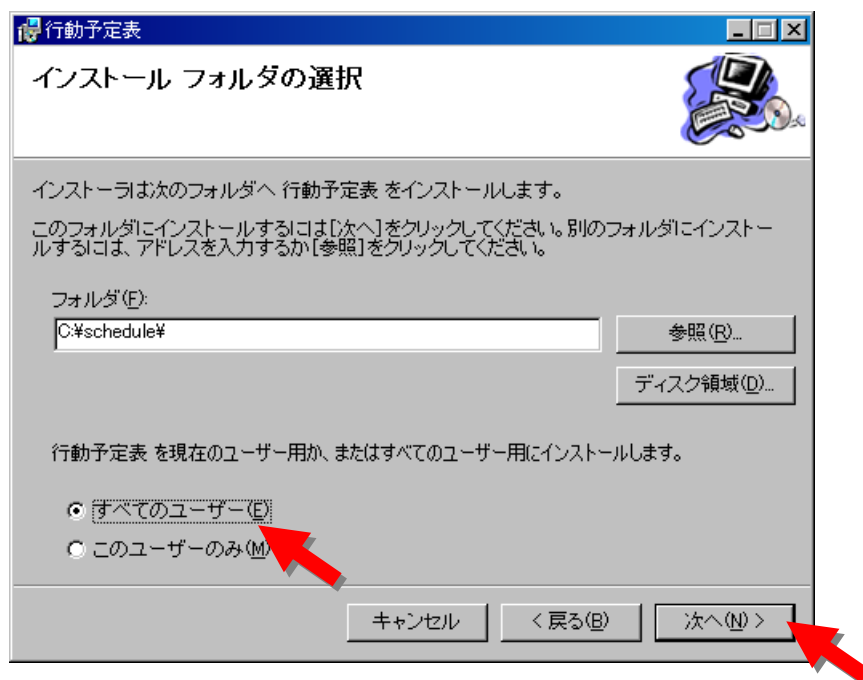
1. 解凍されたファイルの中の Setup.msi を実行してください。
2. 以下のようなセットアップウィザードが起動しますのでインストールを続ける場合は、[次へ(N) >] ボタンを押してください。



3. 使用許諾契約に同意できる場合は、[同意する(A)] ラジオボタンを選択して、[次へ(N) >] ボタンを押してください。



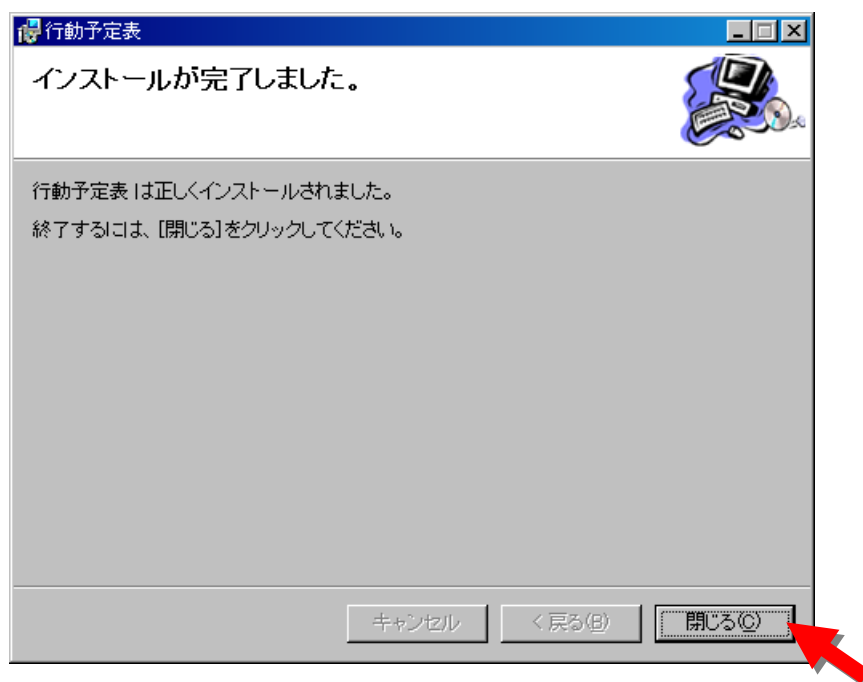
4. [すべてのユーザー(E)]のチェックを選択し、[次へ(N) >] ボタンを押してください。



5. インストールを開始する場合は、[次へ(N) >] ボタンを押してください。



6. インストールが完了しましたら、[閉じる (C)] ボタンを押してインストールを完了してください。



2.3 ActivePerl のインストール

Windows 版 ActivePerl をダウンロードして下さい。ここでは、2007 年 1 月時点のバージョン Ver5.8.8.819 を前提に説明します。(すでに ActivePerl がインストールされている場合は「2.4 ActivePerl の動作確認」に進んでください。)

配布場所は、

<http://www.activestate.com/Products/ActivePerl/>

です。

ダウンロード前に個人情報入力が必要です。ダウンロードしたファイルは自己解凍のインストーラになっていますので実行するだけでインストールがはじまります。旧バージョンの ActivePerl がインストールされている場合は、旧バージョンをアンインストールしてから新バージョンをインストールしてください。

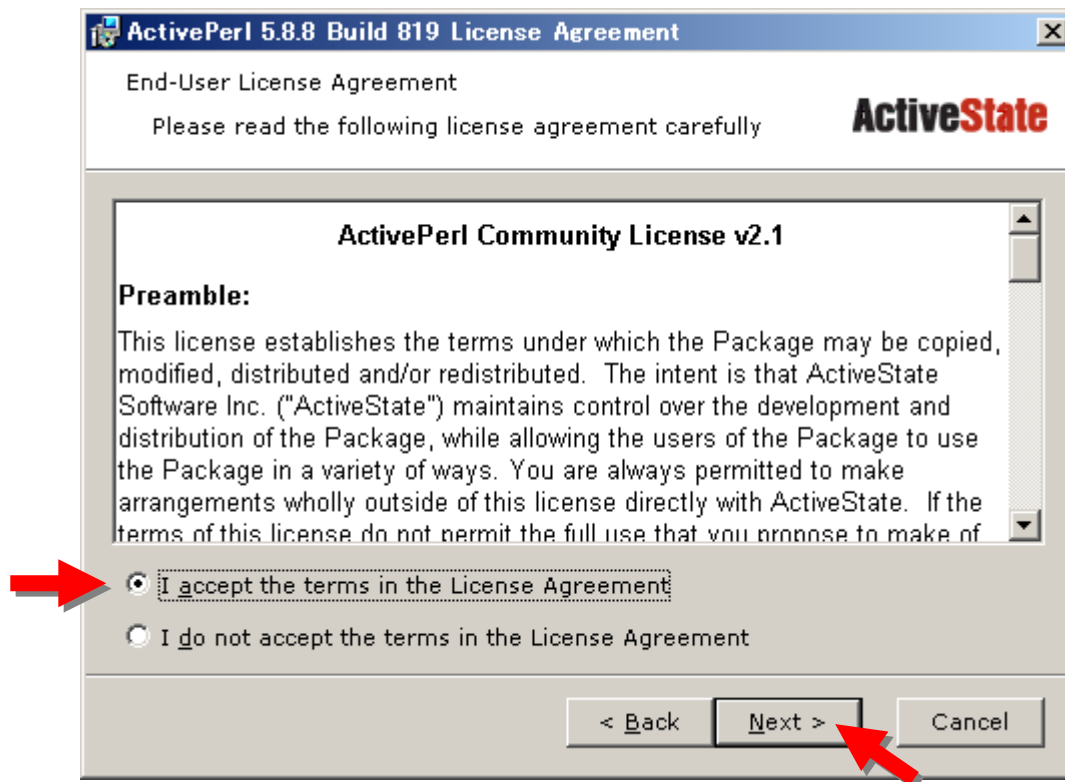
2.3.1 ActivePerl のインストール手順

1. ダウンロードした ActivePerl-5.8.8.819-MSWin32-x86-267479.msi を実行してください。
2. 以下のようなセットアップウィザードが起動します。

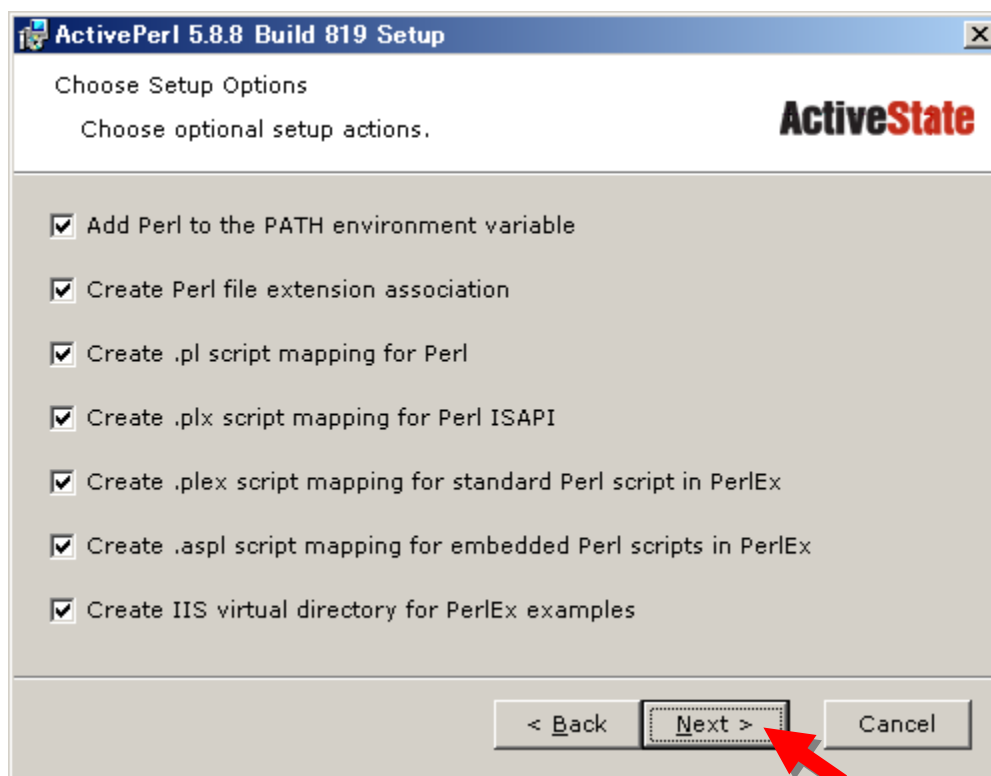


インストールを続ける場合は、[Next >] ボタンを押してください。

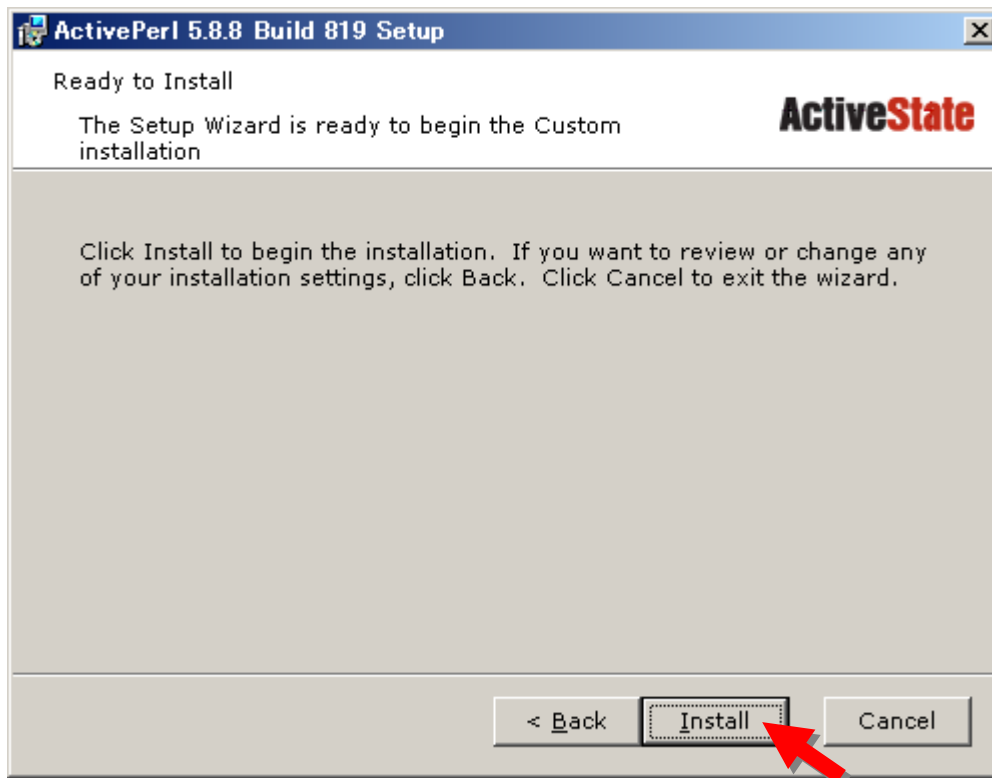
3. ライセンスに関する記述に同意できる場合は、[I accept the terms in the License Agreement] ラジオボタンを選択して、[Next >] ボタンを押してください。



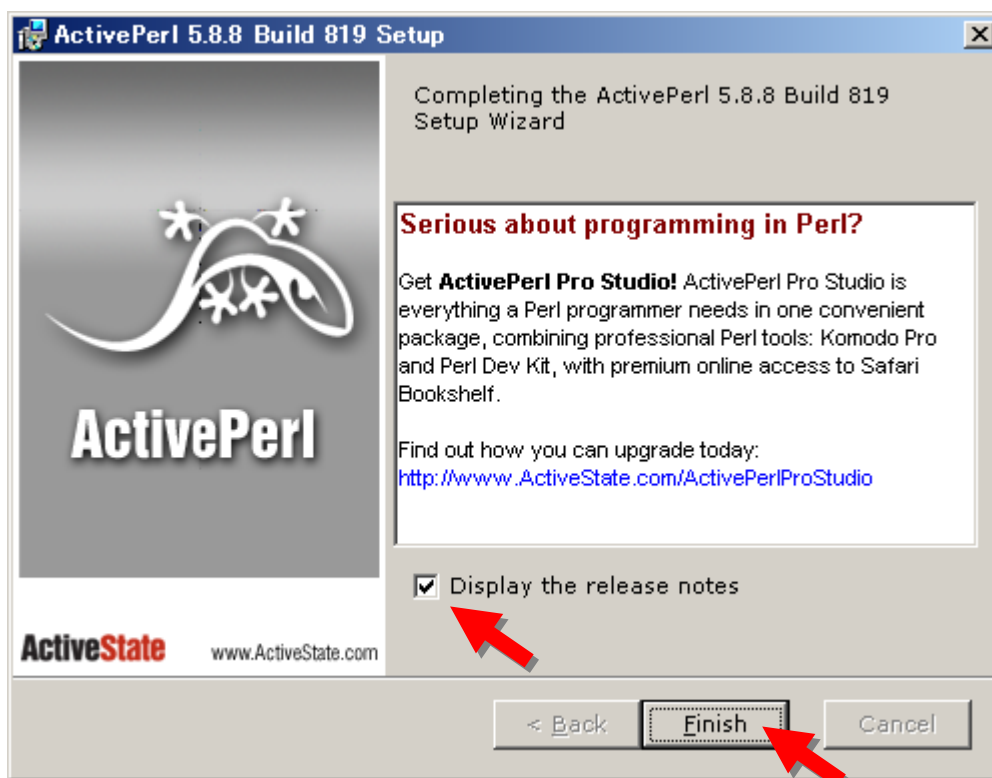
4. [Next >] ボタンを押してください。



5. インストールを開始する場合は [Install] ボタンを押してください。



6. インストールには少し時間がかかります。以下の画面が表示されたらインストールは正常に完了です。説明書を読まない場合は [Display the release notes] のチェックを外して [Finish] ボタンを押してください。セットアップウィザードが終了します。これで、セットアップが完了です。環境変数を有効にするために、必ず Windows を再起動してください。

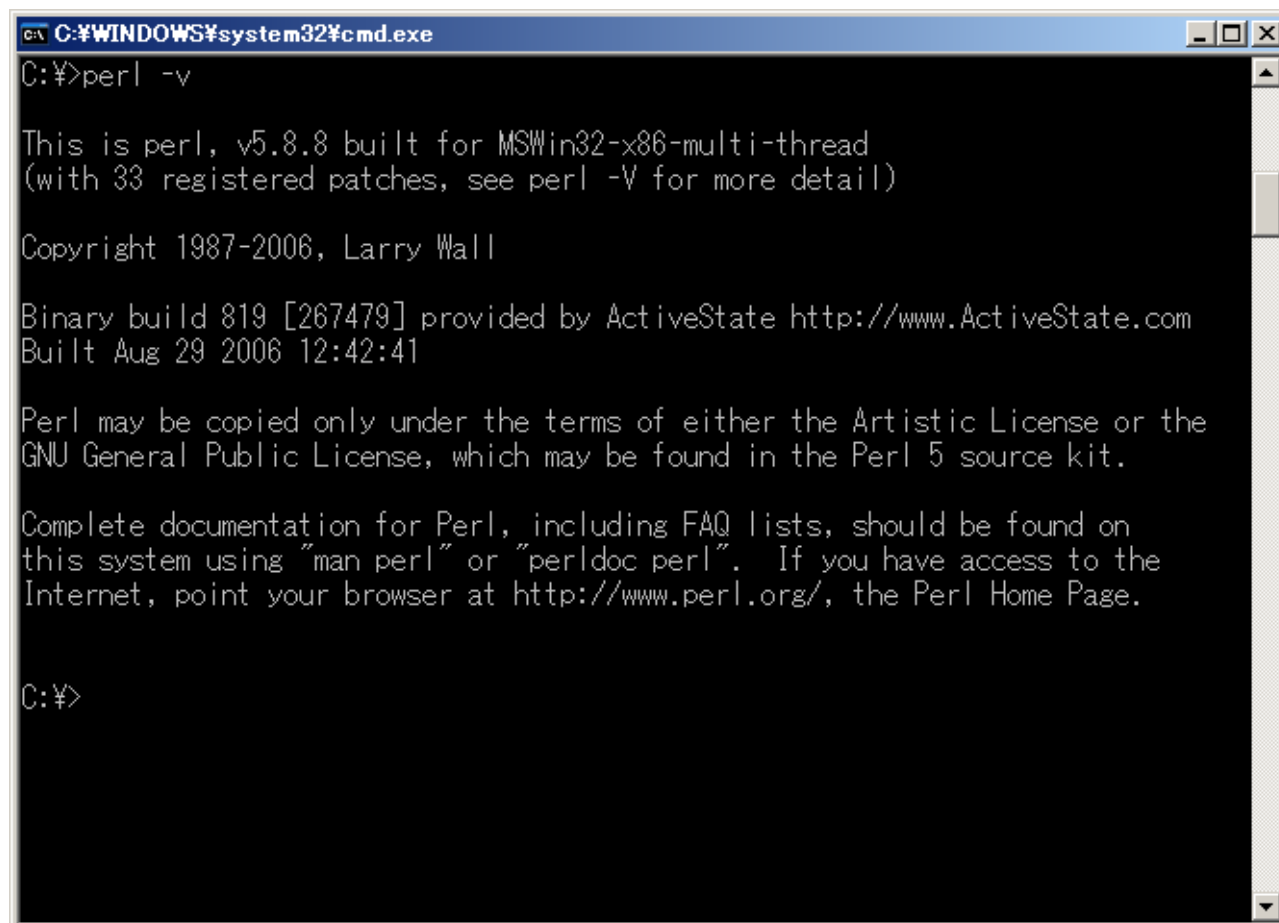


2.4 ActivePerl の動作確認

MS-DOS コマンドプロンプトで `perl -v` と入力します。

```
C:\>perl -v
```

以下のように、Perl のバージョン情報が表示されれば OK です。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
C:\>perl -v

This is perl, v5.8.8 built for MSWin32-x86-multi-thread
(with 33 registered patches, see perl -V for more detail)

Copyright 1987-2006, Larry Wall

Binary build 819 [267479] provided by ActiveState http://www.ActiveState.com
Built Aug 29 2006 12:42:41

Perl may be copied only under the terms of either the Artistic License or the
GNU General Public License, which may be found in the Perl 5 source kit.

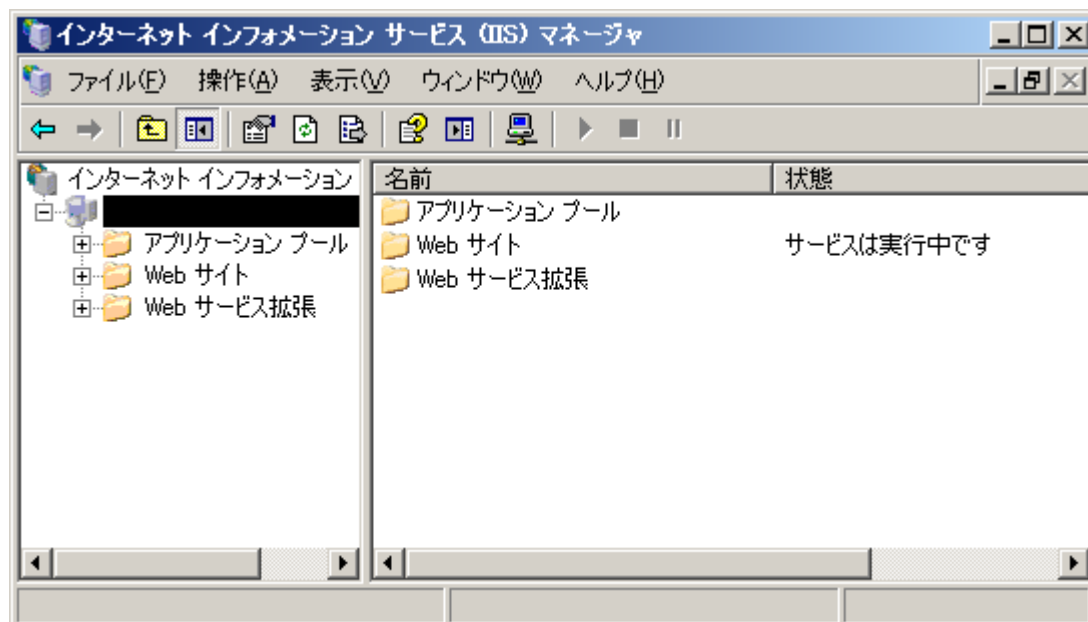
Complete documentation for Perl, including FAQ lists, should be found on
this system using "man perl" or "perldoc perl".  If you have access to the
Internet, point your browser at http://www.perl.org/, the Perl Home Page.

C:\>
```

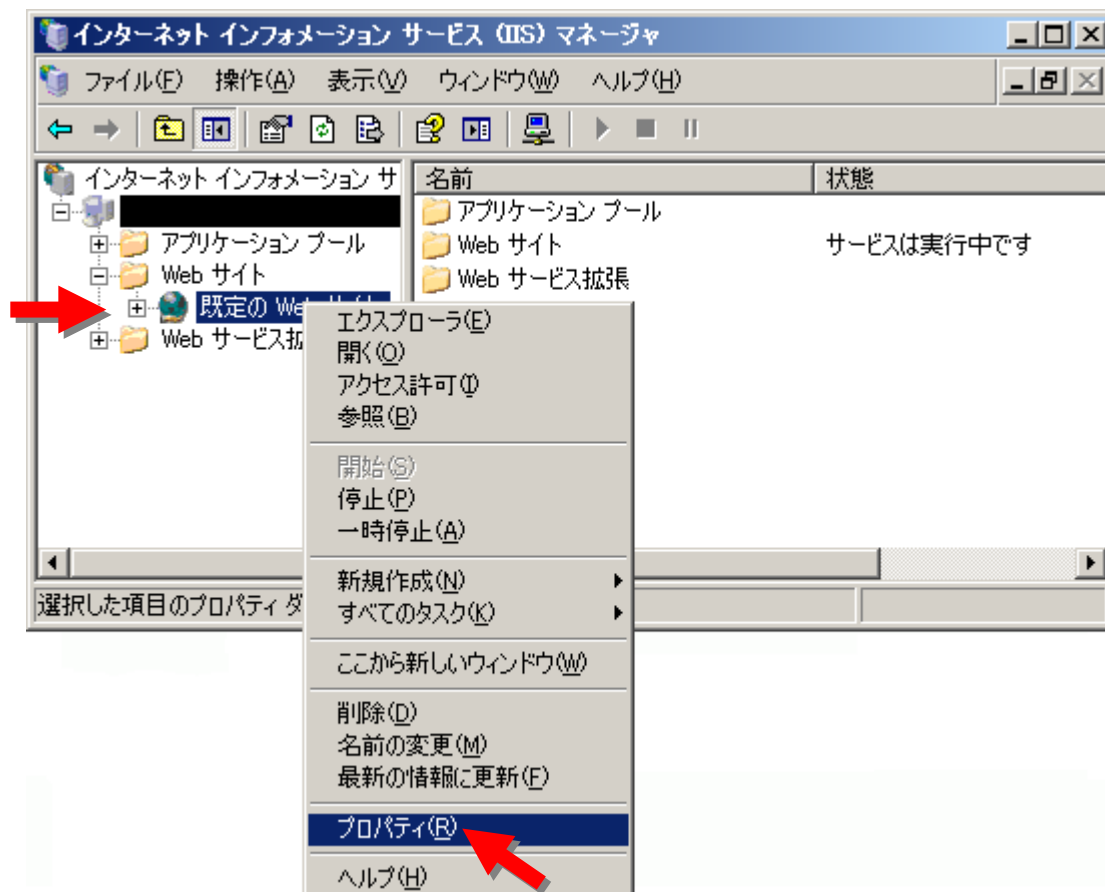
2.5 IIS で Perl CGI を使用するための設定

拡張子が *.cgi のファイルを Perl スクリプトエンジンで実行できるようにするには、IIS に設定する必要があります。（既に設定済みの場合は「2.6 仮想ディレクトリの作成」に進んでください。）

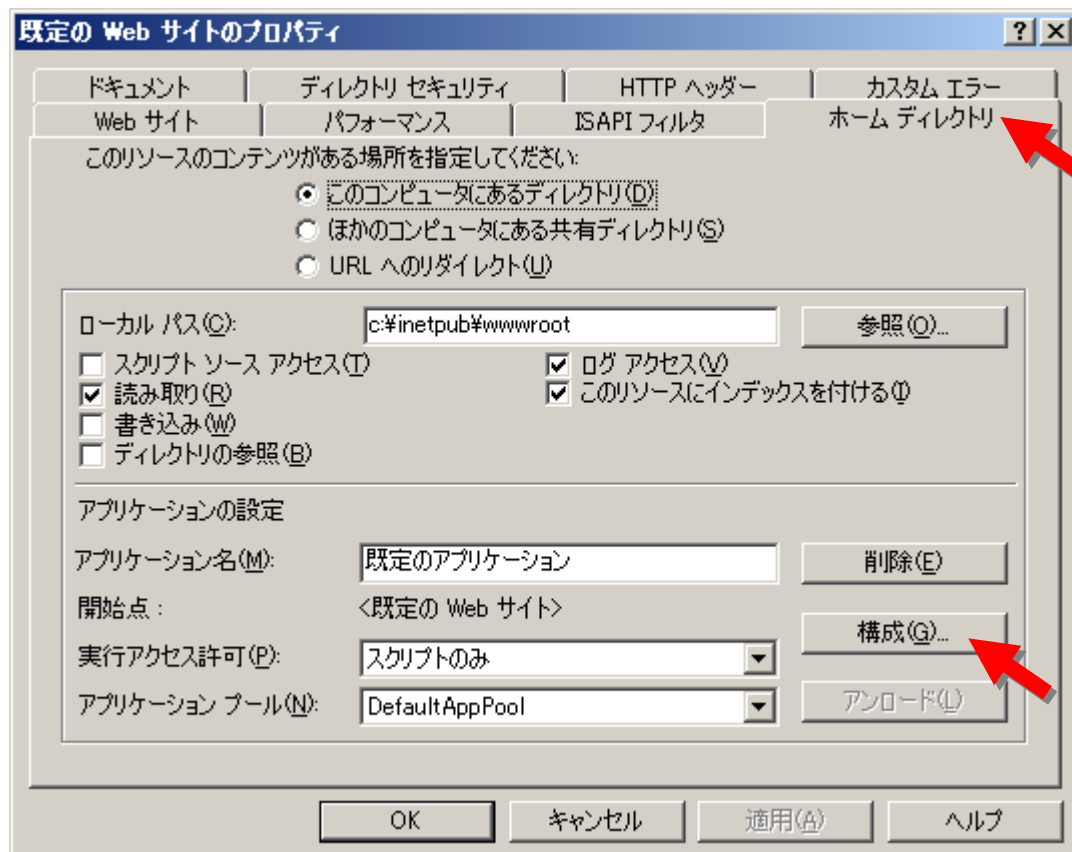
1. [スタート] ボタン→ [管理ツール] → [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ] を開きます。



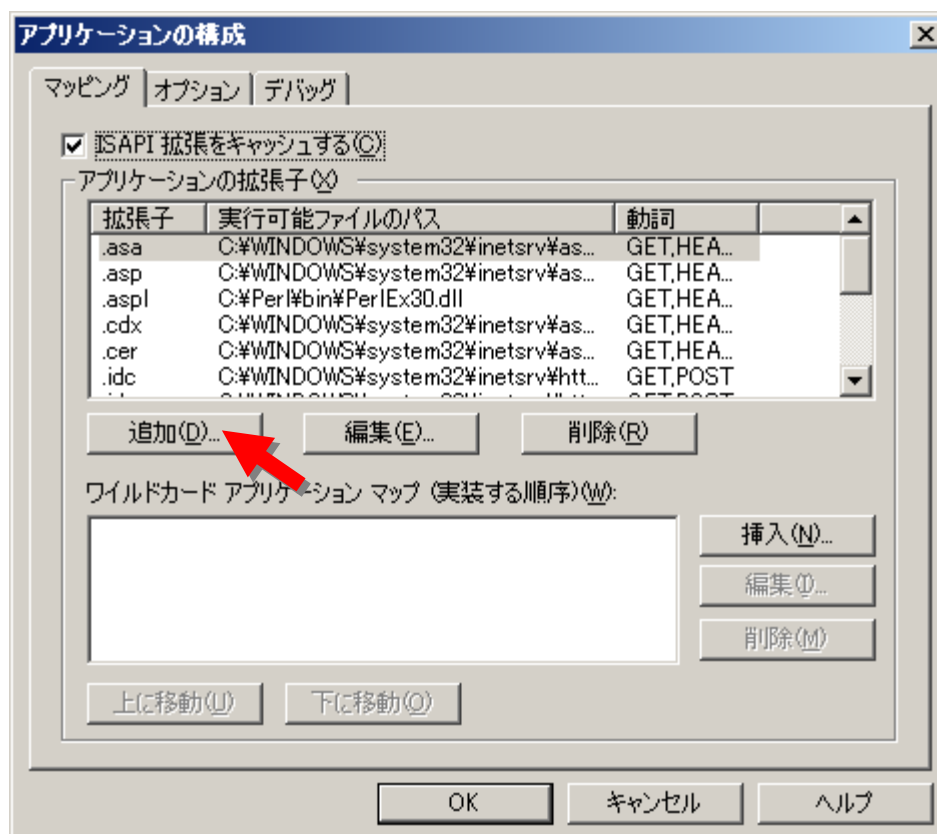
2. [ツリー] ビューの [既定の Web サイト] を右クリックし、[プロパティ(R)] を開きます。



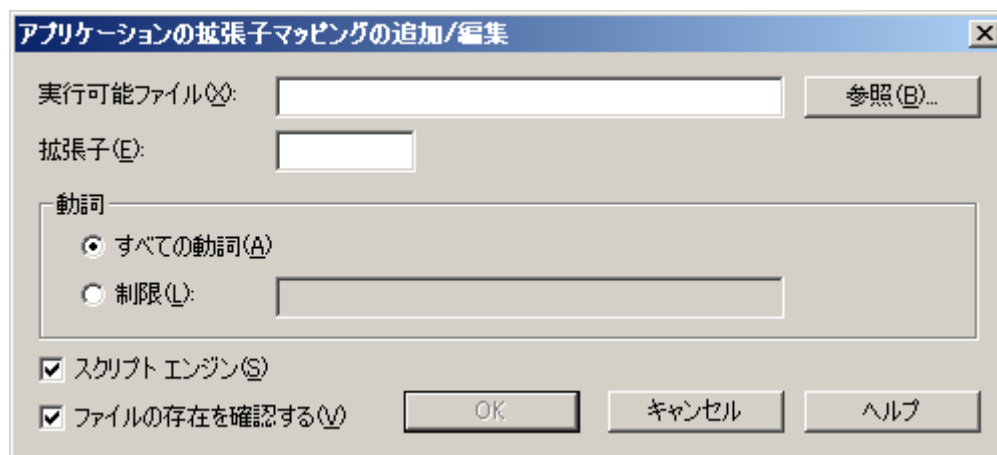
3. [既定の Web サイトのプロパティ] 画面の [ホーム ディレクトリ] タブを選択し、[アプリケーションの設定] 欄の [構成(G)...] をクリックします。



4. [アプリケーションの構成] 画面の [追加(D)...] ボタンをクリックします。



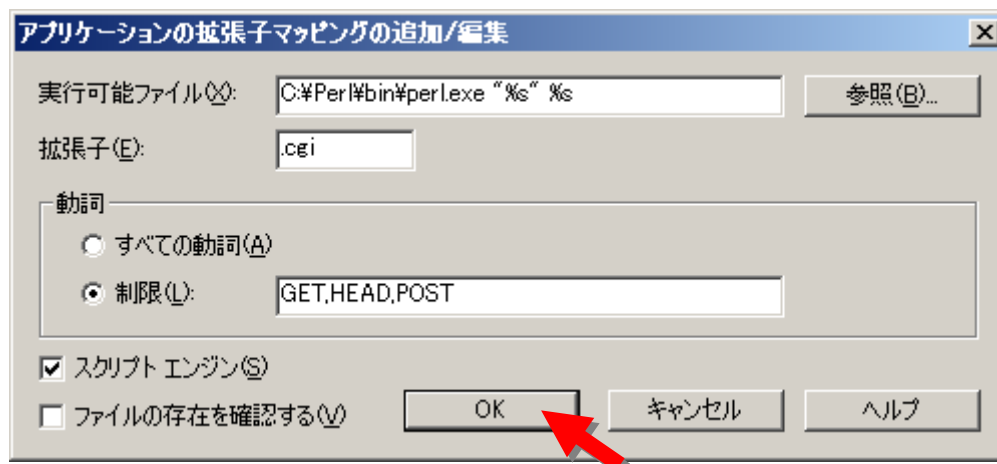
5. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] 画面で、以下の設定情報を入力します。



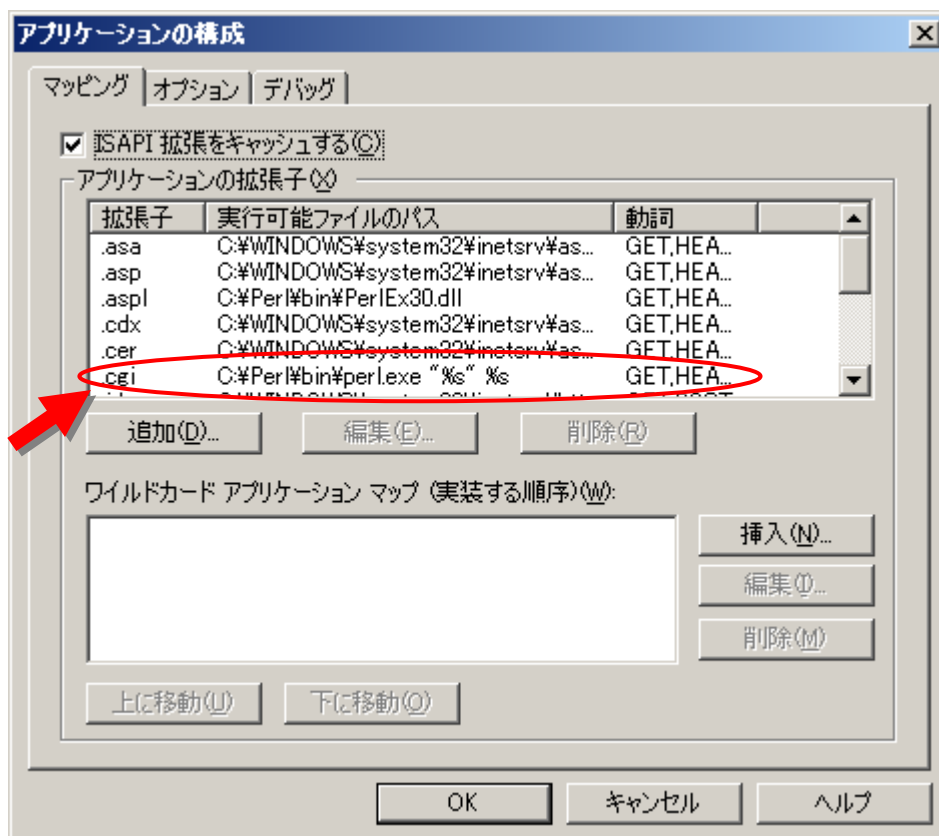
設定情報

[実行ファイル(X)]	C:\Perl\bin\perl.exe "%s" %s
[拡張子(E)]	.cgi
動詞	
[制限(L)]	GET,HEAD,POST

6. 下図のように入力完了したら、[OK] ボタンをクリックします。



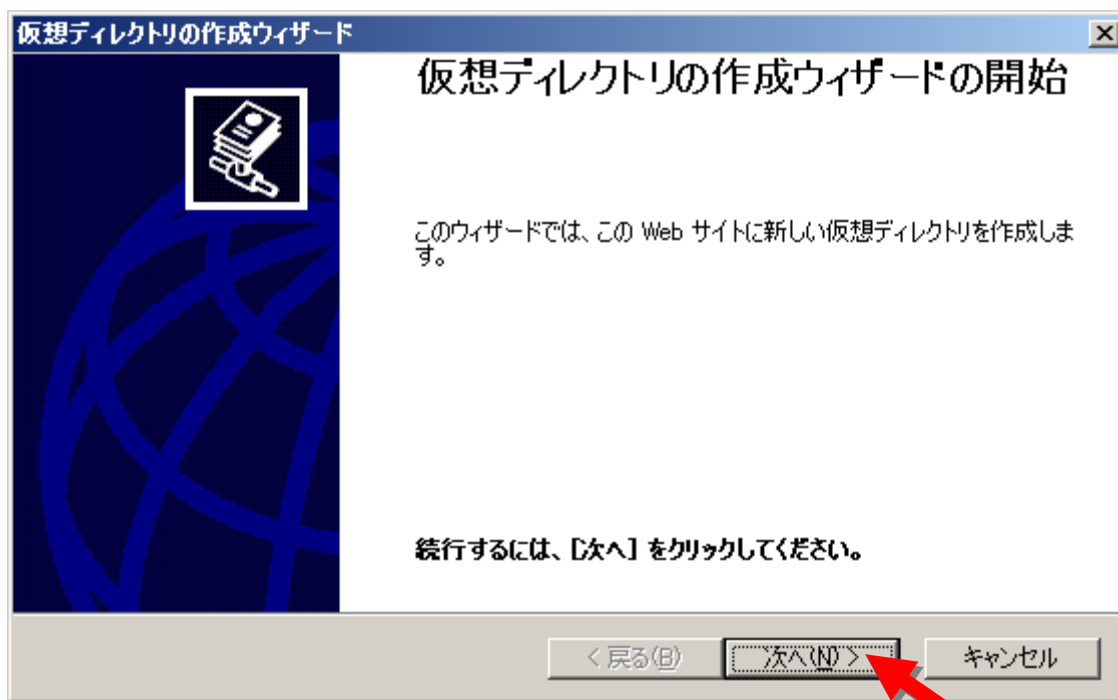
7. [アプリケーションの構成] 画面の [マッピング] 欄に、“.cgi” のマッピング情報が追加されていることを確認してください。



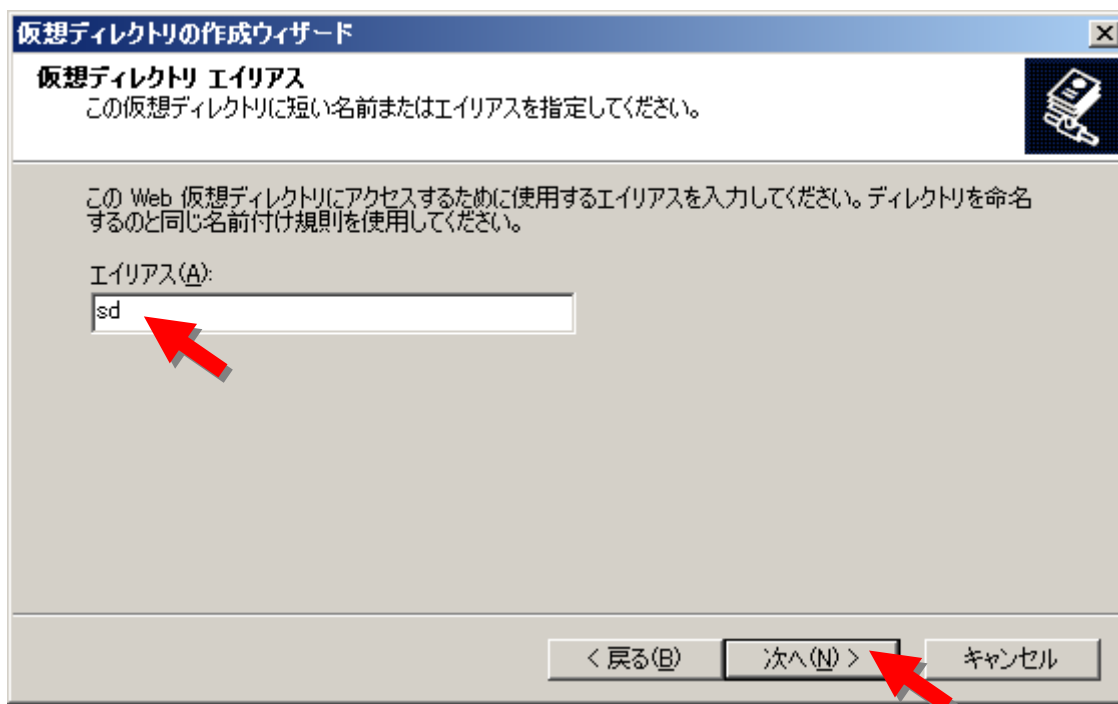
8. 後はすべて [OK] ボタンをクリックし、設定画面を終了してください。

2.6 仮想ディレクトリの作成

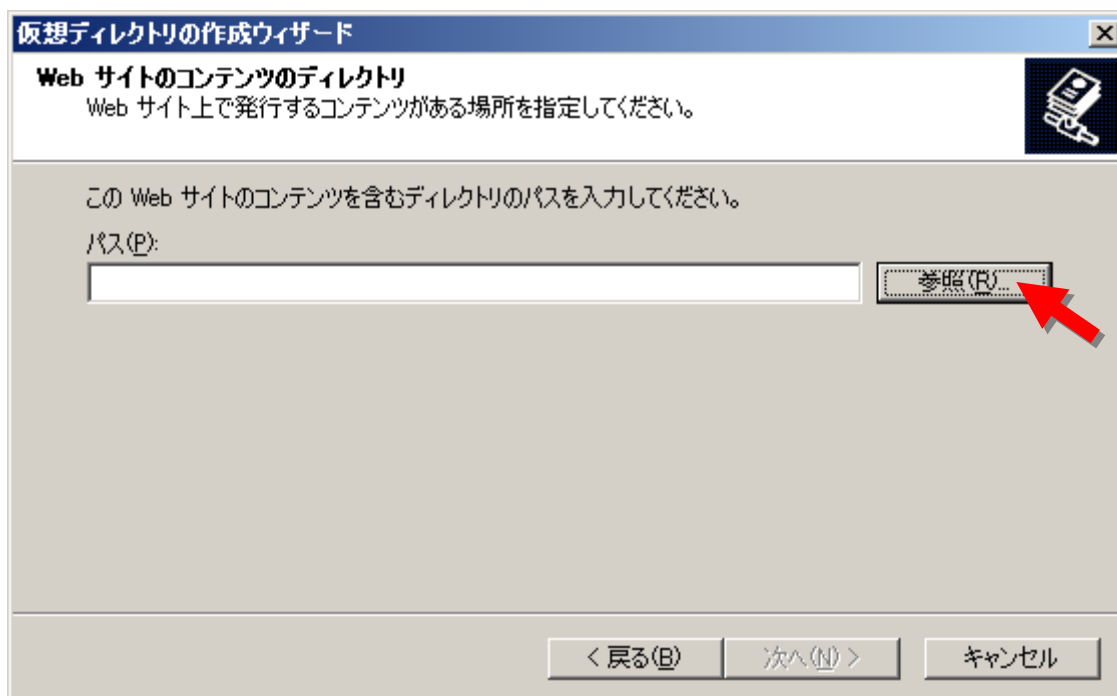
1. [スタートボタン] → [管理ツール] → [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ] を開きます。
2. [既定の Web サイト] を右クリックし、ポップアップメニューから [新規作成 (N)] → [仮想ディレクトリ (V)] を選びます。
3. [仮想ディレクトリの作成ウィザード] で [次へ (N) >] ボタンを押します。



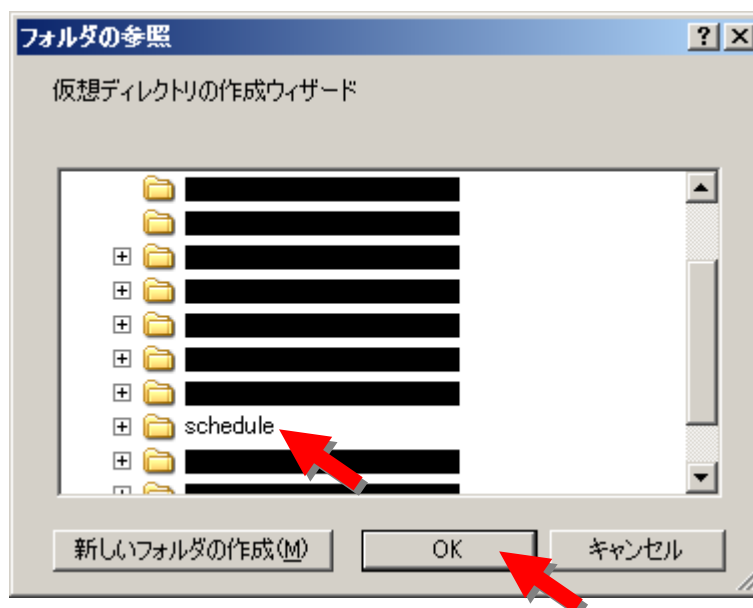
4. [エイリアス (A)] に “sd” と入力し、[次へ (N) >] ボタンを押します。



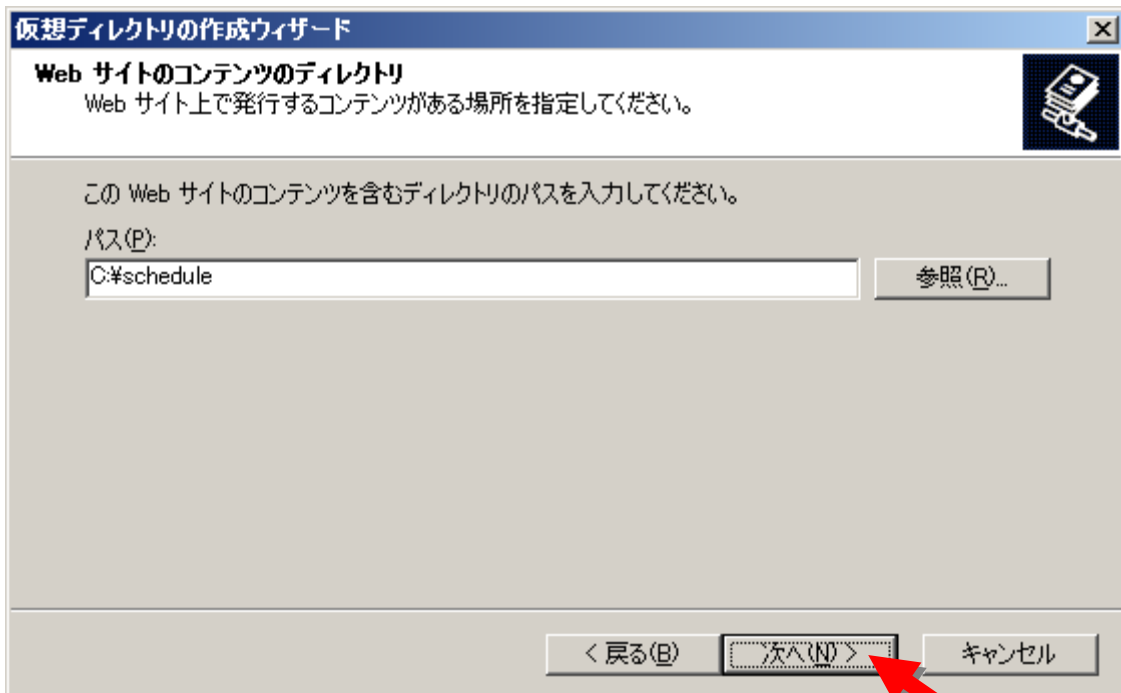
5. [参照(R)...] ボタンを押してください。



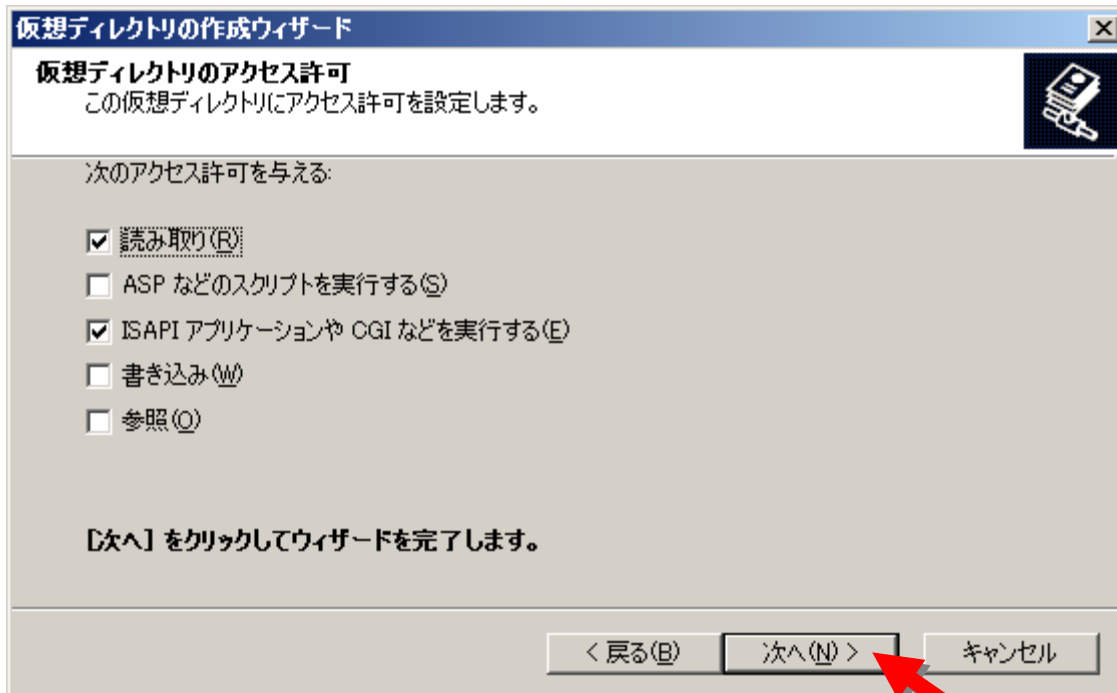
6. 物理ディレクトリの “C:\schedule” を選択し、[OK] ボタンを押します。



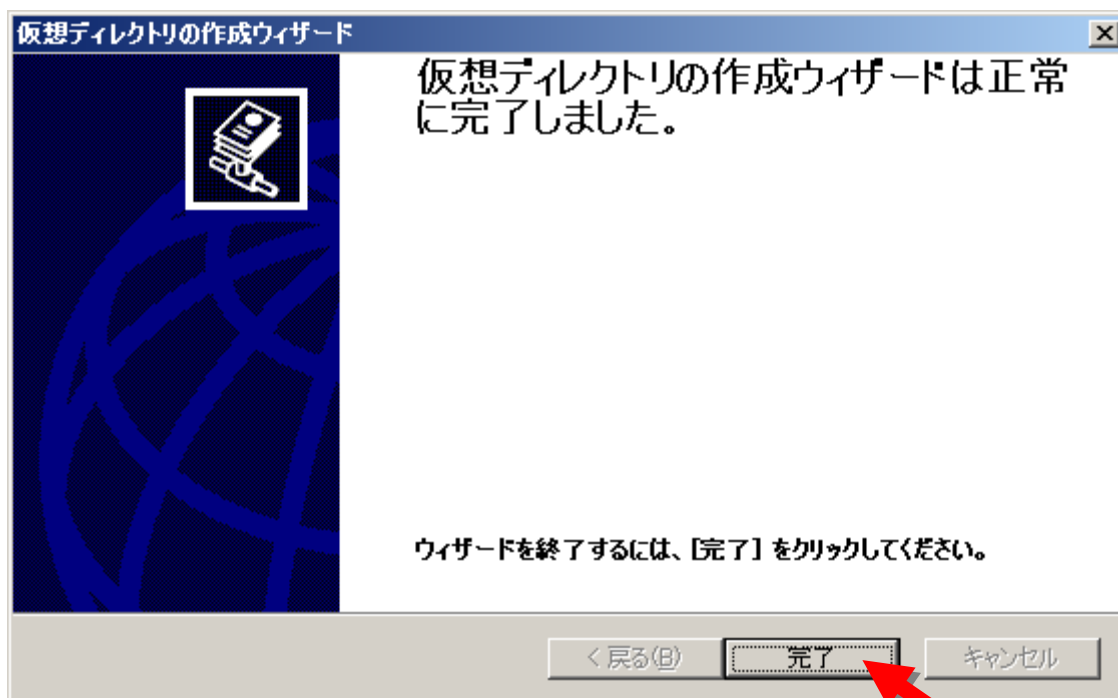
7. 「パス(P)」欄に、選択した物理ディレクトリのパスが表示されていることを確認し、「次へ(N) >」ボタンを押します。



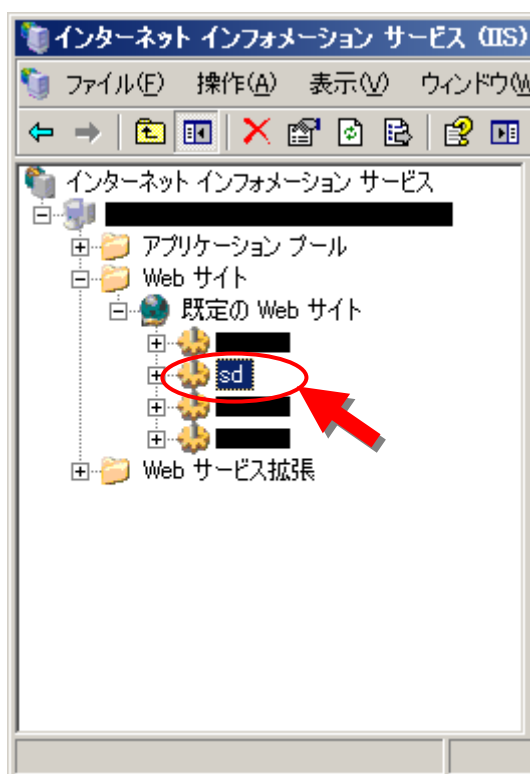
8. 「読み取り(R)」および「ISAPI アプリケーションや CGI などを実行する(E)」にチェックを入れて、「次へ(N) >」ボタンを押します。



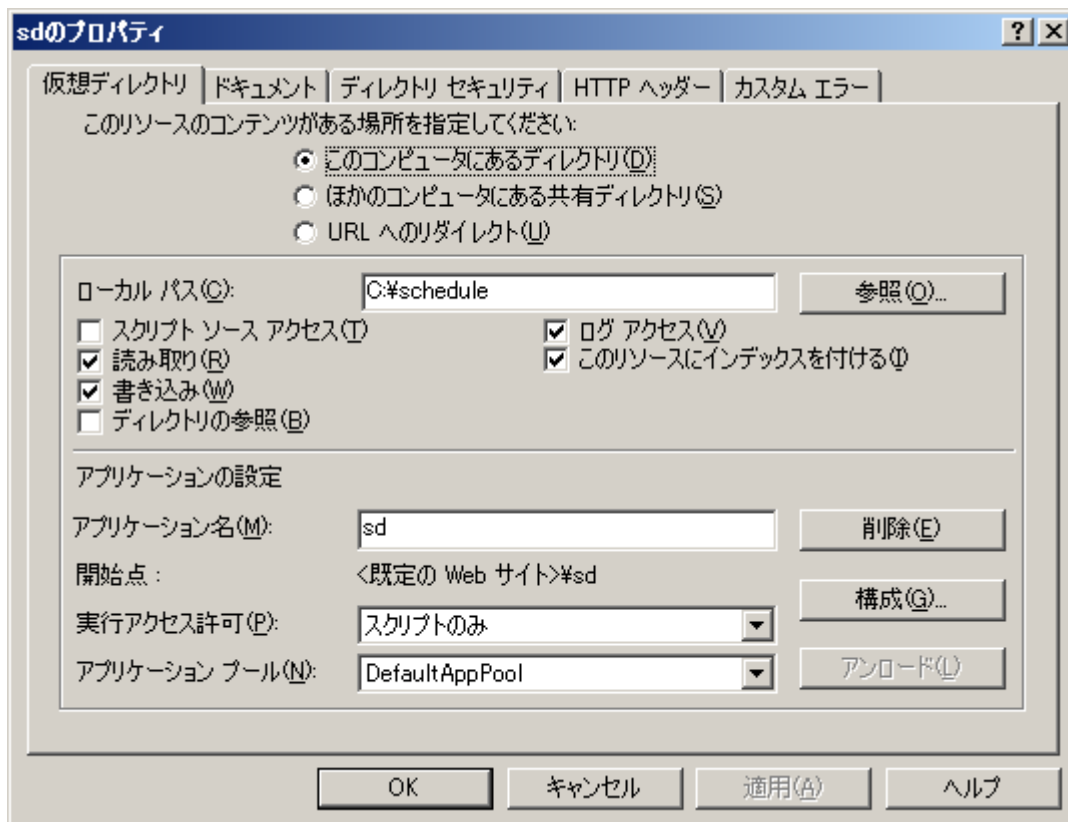
9. [完了]ボタンを押します。



10. 仮想ディレクトリ作成ウィザードの設定が完了すると、以下のように仮想ディレクトリ “sd” が作られています。



11. 仮想ディレクトリ “sd” を右クリックし、[プロパティ(R)] を選択します。下図のようにになっているかどうか、仮想ディレクトリの設定を確認してください。設定が下図と異なる場合は、ここで仮想ディレクトリの設定内容を参照・変更することができます。

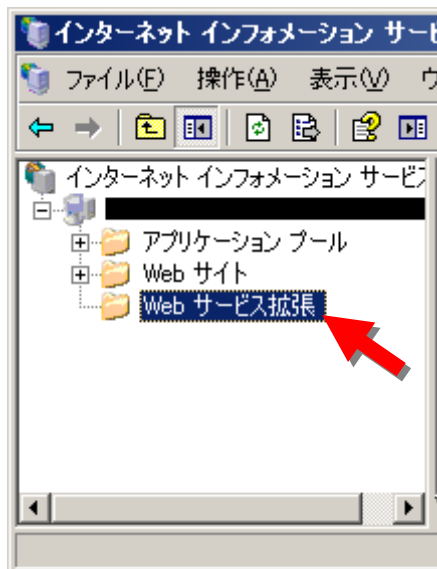


12. 後は [OK] ボタンをクリックして仮想ディレクトリの設定を終了してください。
13. “sd” を右クリック→ [プロパティ(R)]→ [ドキュメント]→ [既定のコンテンツ ページを有効にする(C)] の1番目に index.cgi を追加すると、URL を https://xxx.xxx.xxx.xxx/sd に短縮できます。
(これをしない場合、URL は https://xxx.xxx.xxx.xxx/sd/index.cgi)

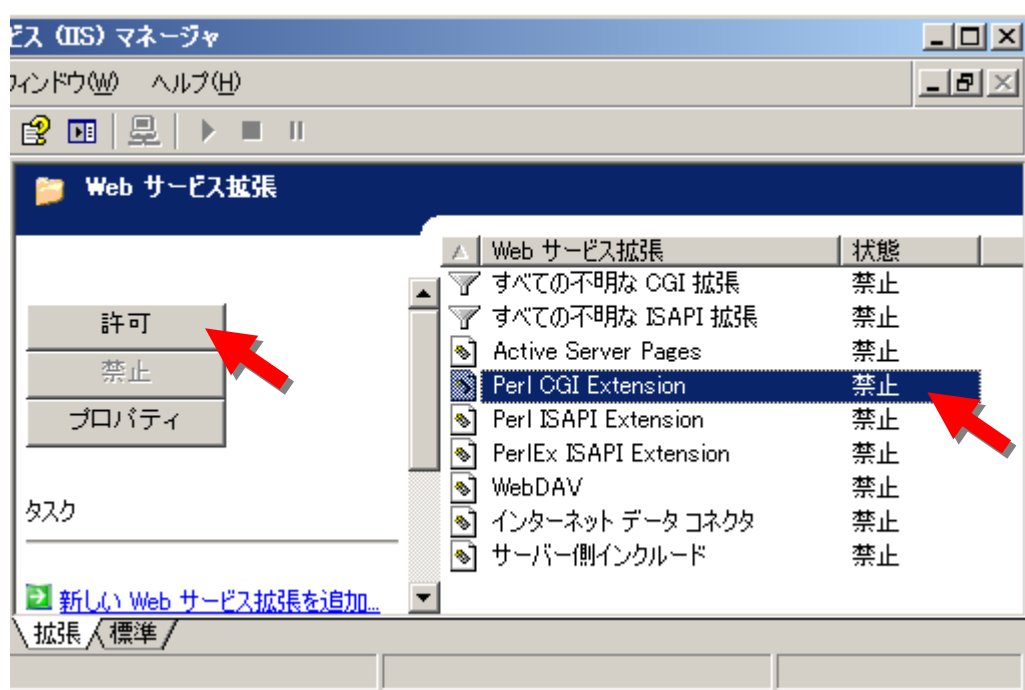


2.7 Web サービス拡張の設定

1. [スタートボタン] → [管理ツール] → [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ] を開きます。
2. [Web サービス拡張] をクリックします。



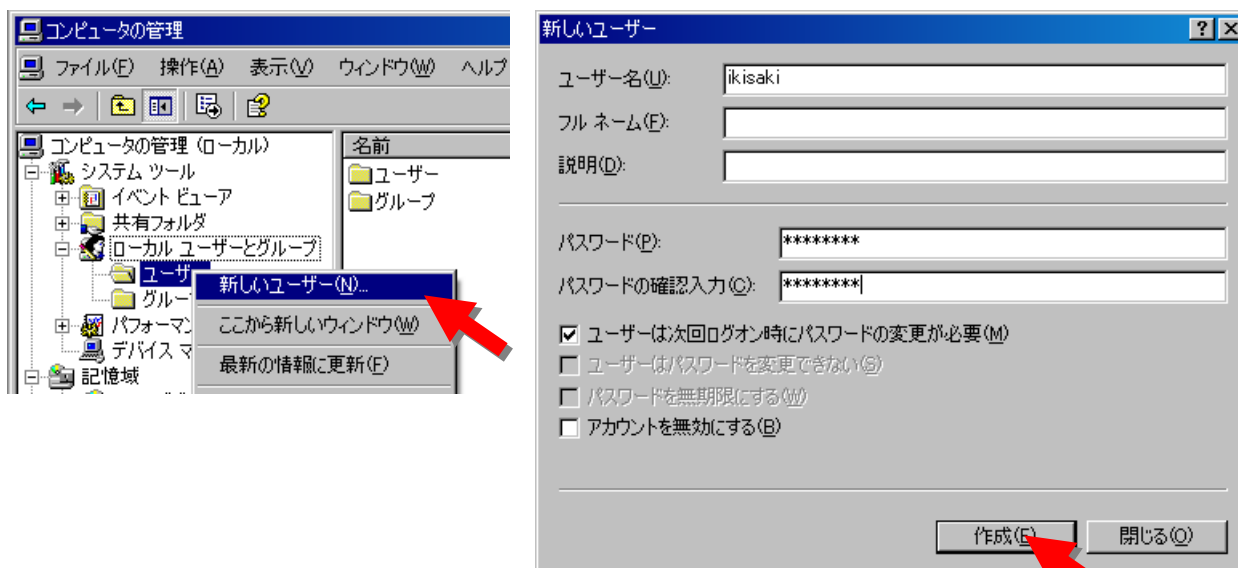
3. 右ペインの [Perl CGI Extension] をクリックし、[許可] をクリックします。



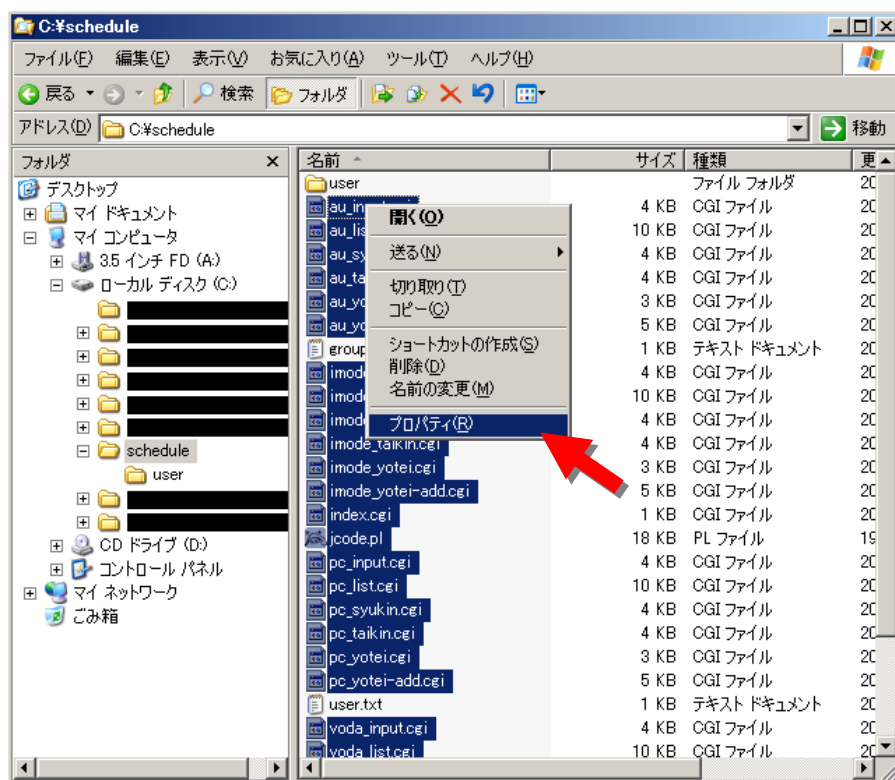
2.8 アクセス権の設定（インターネットのセキュリティ対策）

1. [スタート]→[管理ツール]→[コンピュータの管理]を実行し、[ローカルユーザーとグループ]→[ユーザー]を右クリックします。[新しいユーザー]を選択して[ユーザー名]と[パスワード]/[パスワードの確認入力]を入力し、行動予定表ユーザ(例：ikisaki)を作成します。

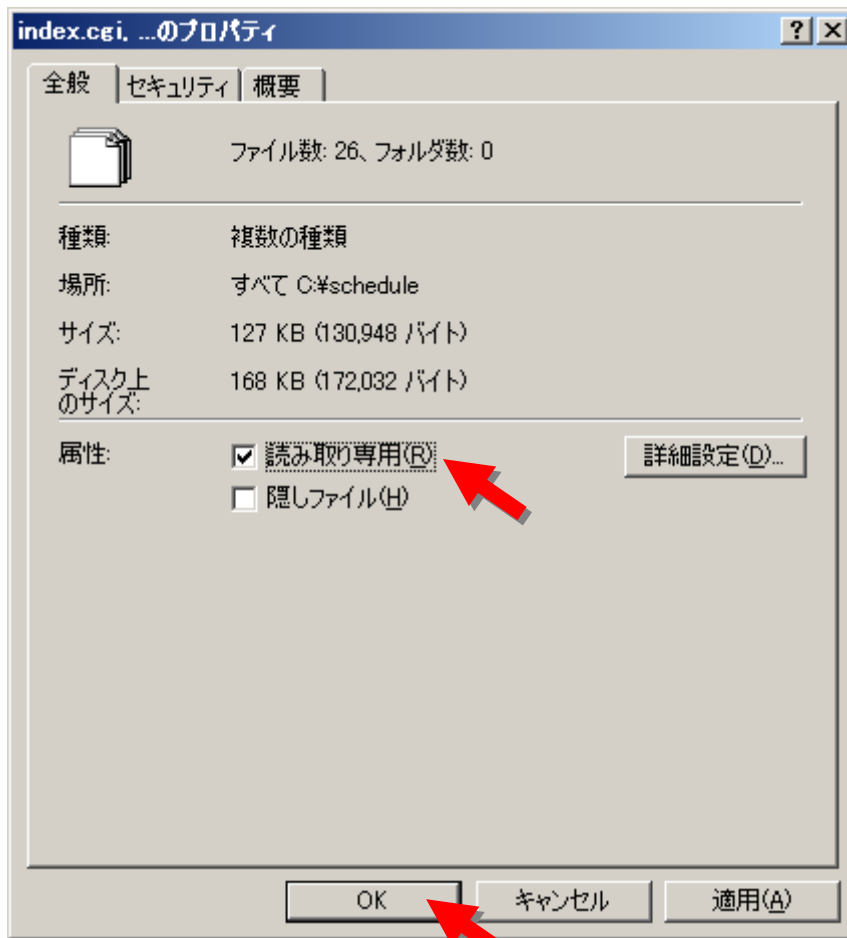
※ドメインユーザとして追加する場合には、「Active Directory ユーザーとコンピュータ」からユーザを追加してください。詳しくはお使いの OS のヘルプをご覧ください。



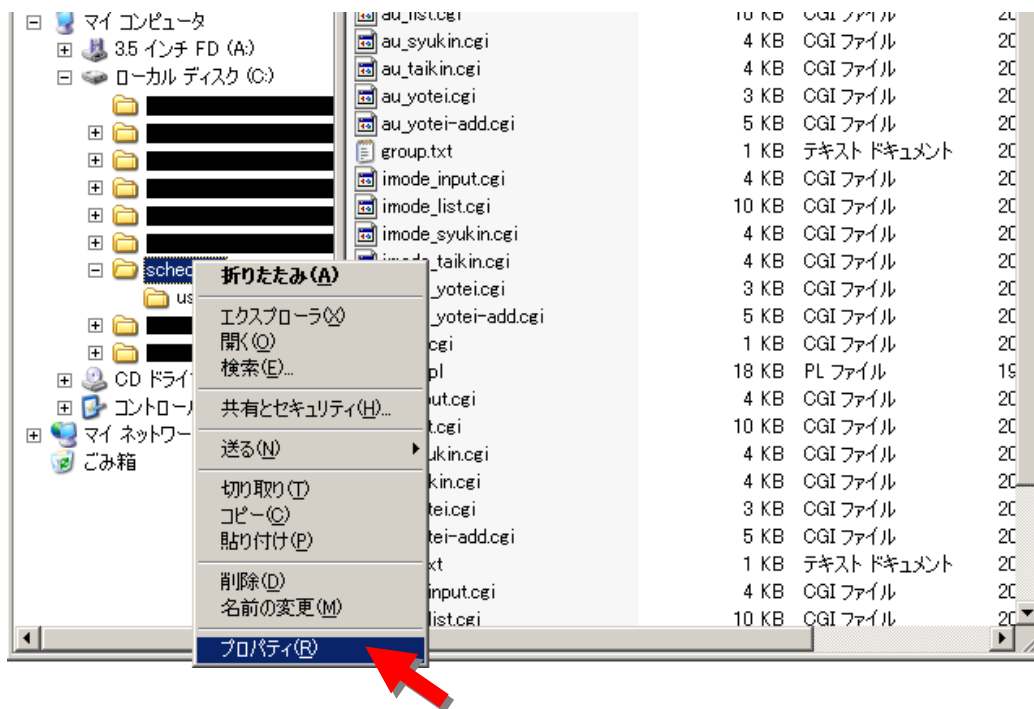
2. C:\\$schedule\$直下の user ディレクトリ、user.txt、group.txt 以外のファイルを選択し、右クリックしてポップアップメニューから [プロパティ(R)] を選択します。



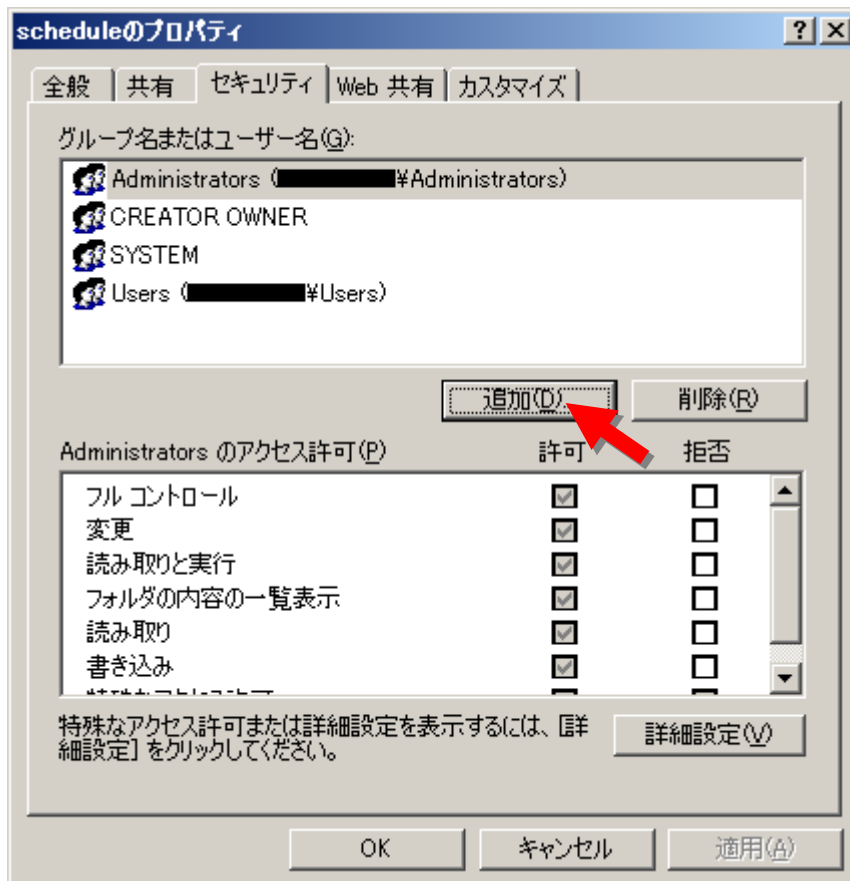
3. [属性] 欄の [読み取り専用(R)] にチェックを入れ、[OK] ボタンを押します。



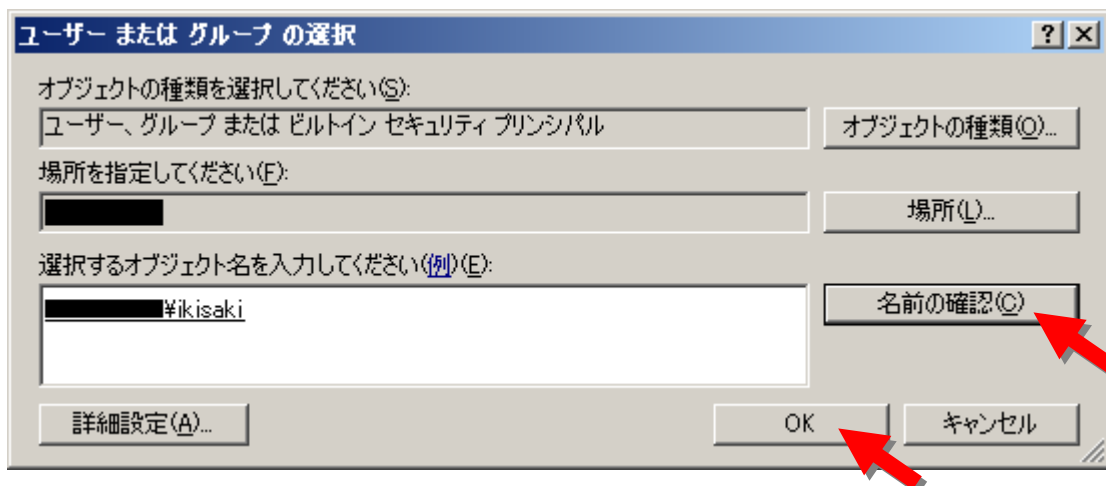
4. schedule フォルダを選択し、右クリックして [プロパティ(R)] を選択します。



5. [セキュリティ] タブを選択し、[追加(D)...] ボタンを押します。

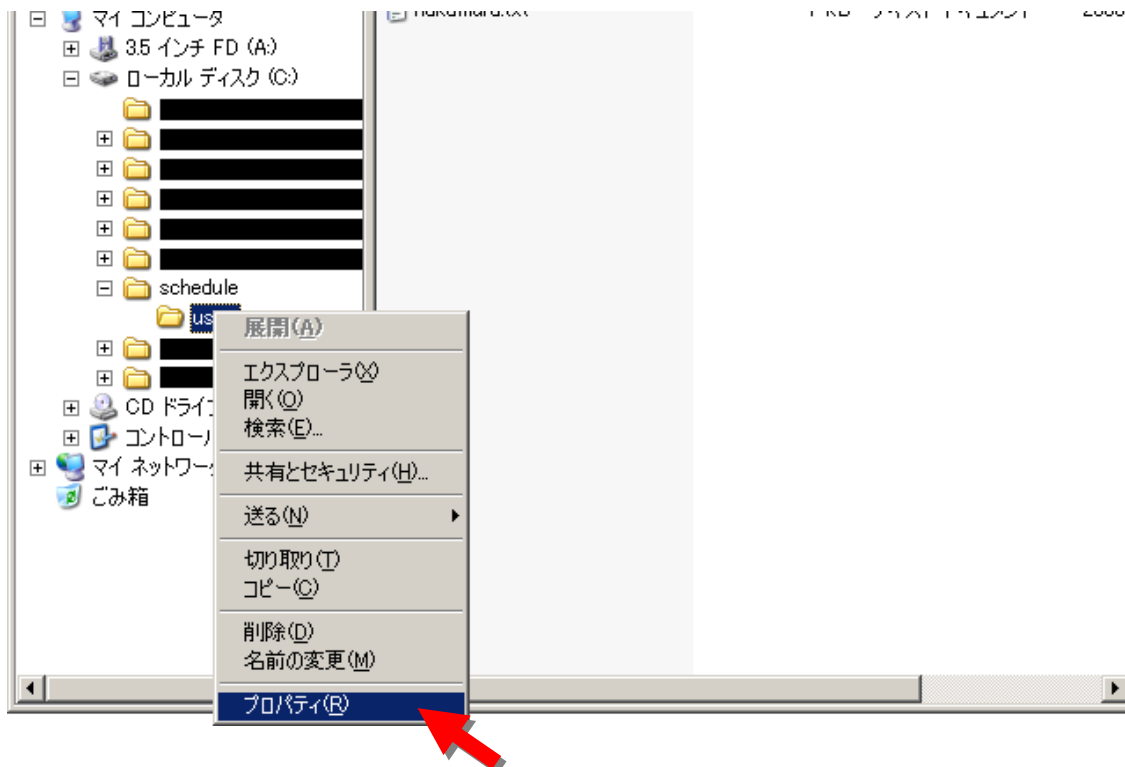


6. [選択するオブジェクト名を入力してください(例) (E):] の入力欄に “ikisaki” を入力し、[名前の確認(C)] ボタンを押しますと、入力欄にコンピュータ名を含むユーザ名が表示されますので、[OK] ボタンを押します。

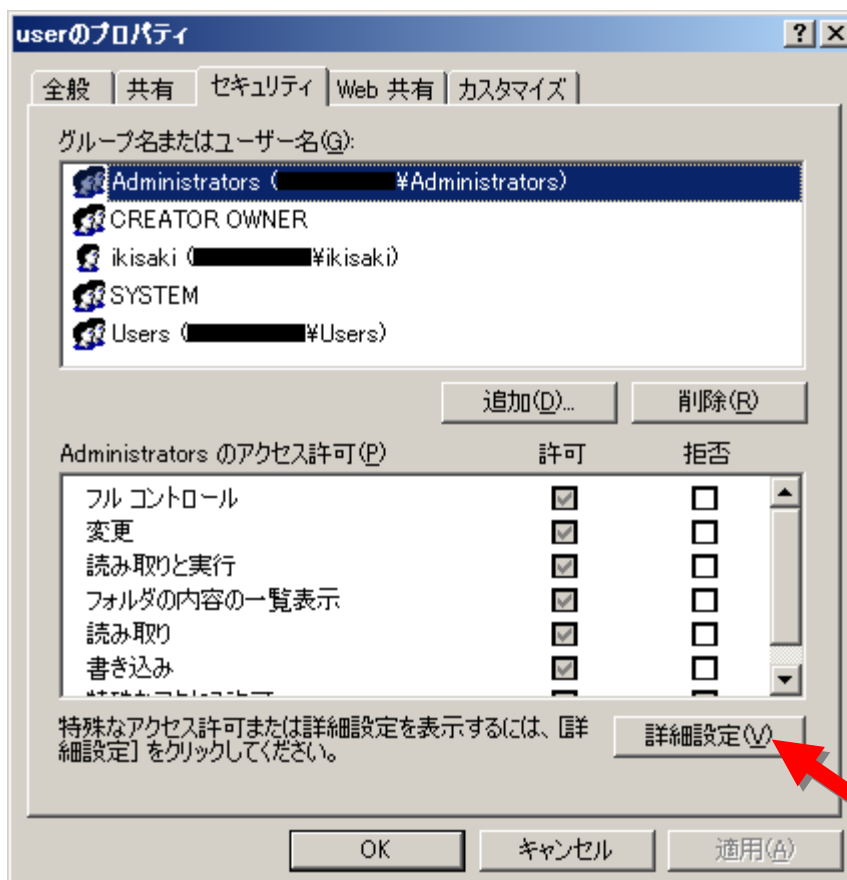


7. [OK] ボタンを押し、schedule フォルダのプロパティ画面を閉じます。

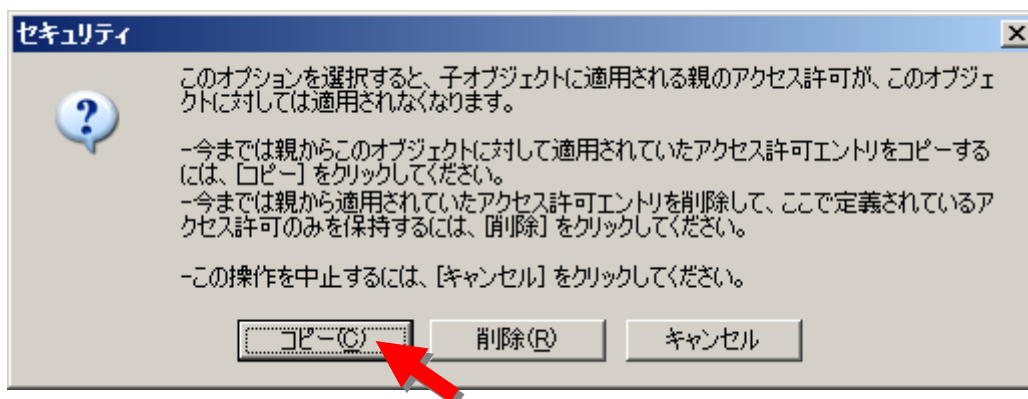
8. user フォルダの中のテキストファイルに「特殊なアクセス権」を設定するため、user フォルダを選択し、右クリックして「プロパティ(R)」を選択します。



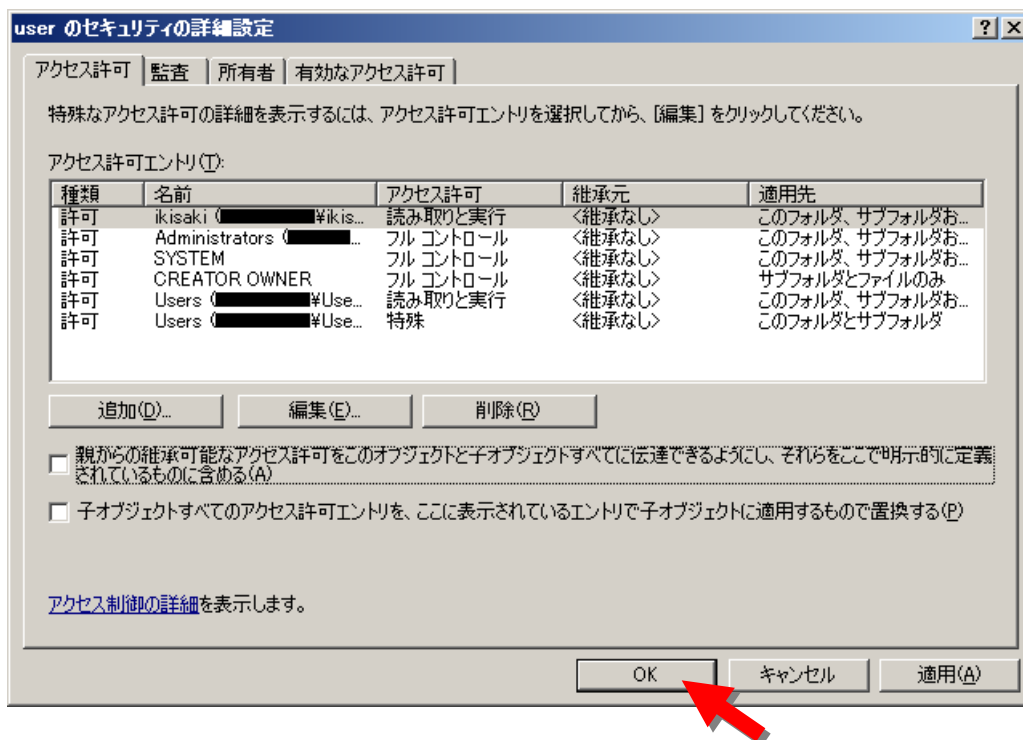
9. 「セキュリティ」タブを選択し、「詳細設定(V)」ボタンを押します。



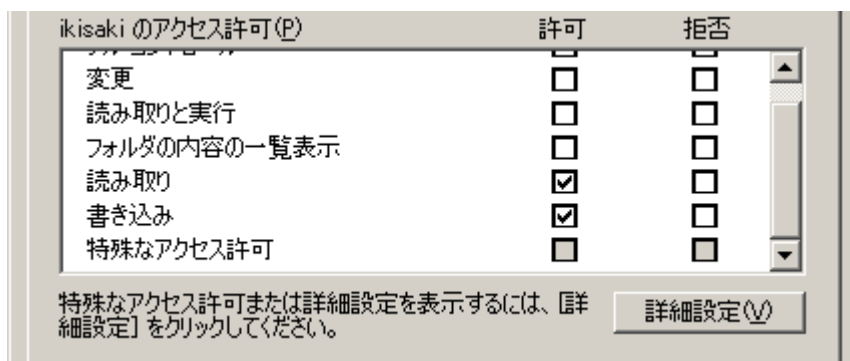
10. [親からの継承可能なアクセス許可をこのオブジェクトと子オブジェクトすべてに伝達できるようにし、それらをここで明示的に定義されているものに含める(A)] のチェックを外そうとすると、以下の画面が表示されますので、[コピー(C)] ボタンを押します。



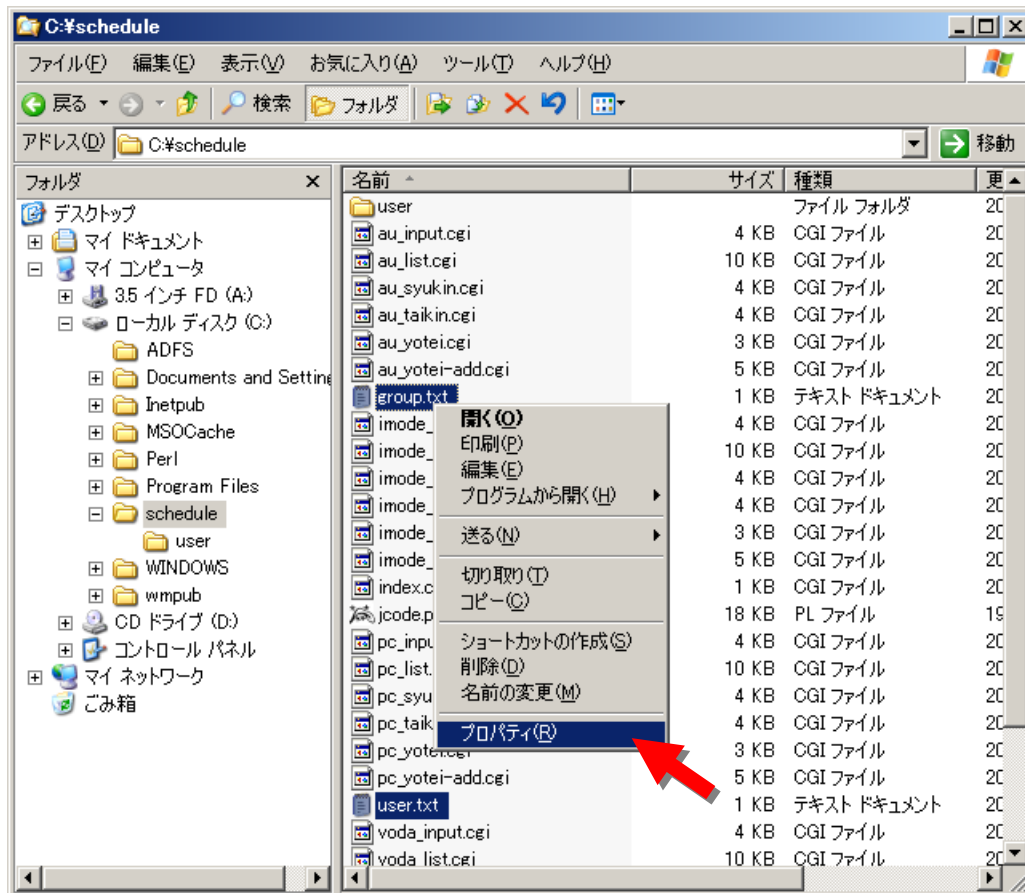
11. [OK] ボタンを押します。



12. 追加した行動予定表ユーザ(“ikisaki”)、Administrators の [読み取り]、[書き込み] にだけチェックを入れ、[OK] ボタンを押します。



13. user.txt、group.txt を選択し、右クリックして [プロパティ (R)] を選択します。



14. [セキュリティ] タブを選択し、[詳細設定 (V)] ボタンを押します。

15. [親からの継承可能なアクセス許可をこのオブジェクトと子オブジェクトすべてに伝達できるようにし、それらをここで明示的に定義されているものに含める (A)] のチェックを外そうとすると、以下の画面が表示されますので、[コピー (C)] ボタンを押します。

16. [OK] ボタンを押します。

17. 追加した行動予定表ユーザ(“ikisaki”)、Administrators のアクセス許可をそれぞれ以下のように設定します。

- ・行動予定表ユーザ(“ikisaki”)の場合

ikisaki のアクセス許可(P)	許可	拒否
フル コントロール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
変更	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
読み取りと実行	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
読み取り	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
書き込み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特殊なアクセス許可	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

特殊なアクセス許可または詳細設定を表示するには、[詳細設定] をクリックしてください。

詳細設定 (V)

- ・Administrators の場合

Administrators のアクセス許可(P)	許可	拒否
フル コントロール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
変更	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
読み取りと実行	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
読み取り	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
書き込み	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特殊なアクセス許可	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

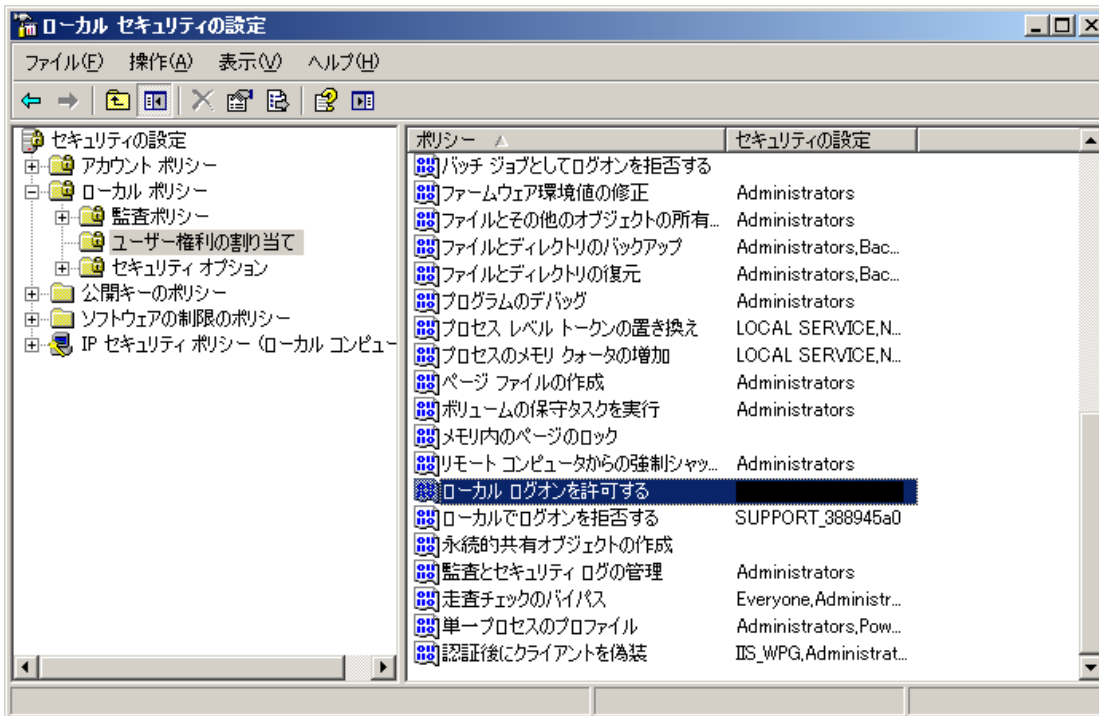
特殊なアクセス許可または詳細設定を表示するには、[詳細設定] をクリックしてください。

詳細設定 (V)

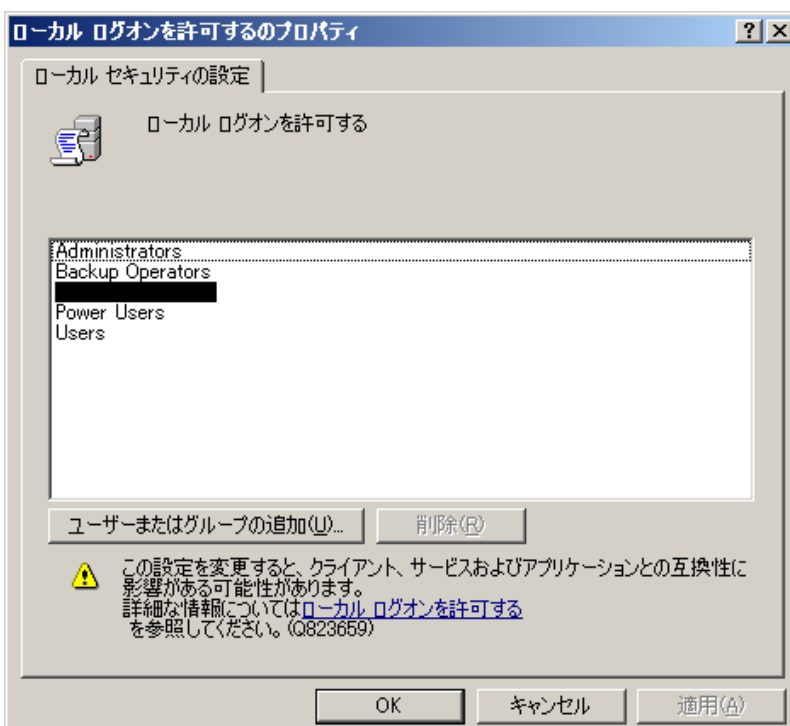
18. 後は全て [OK] ボタンをクリックし、アクセス権の設定を終了してください。

注) 「アクセス権の設定」を実施してもうまく動作しない場合は、さらに以下の手順をお試しください。

1. [スタートボタン] → [管理ツール] → [ローカル セキュリティ ポリシー] を開きます。
2. [ローカル ポリシー] → [ユーザー権利の割り当て] の [ローカル ログオンを許可する] を開きます。



3. [ユーザーまたはグループの追加(U)...] ボタンを押して、以前の手順で追加した行動予定表ユーザー (“ikisaki”) を指定してください。



3 ユーザ情報の設定

ユーザ情報の設定を行う場合は、別冊『行動予定表 ユーザ情報編集ツール取扱説明書』をご覧ください。

行動予定表 サーバ設定取扱説明書
株式会社ハシモト



<http://www.hsmt.co.jp/>

商標

Microsoft、Windows および Microsoft Internet Explorer は、Microsoft Corporation の登録商標です。
その他の社名、製品名、サービス名は、他社の登録商標、商標またはサービスマークです。
マニュアルに記載されているロゴマークは株式会社 ハシモトの登録商標です。